



2024年10月3日

各 位

会 社 名 株式会社放電精密加工研究所
 代 表 者 名 代表取締役社長 村田 力
 (コード番号 6469)
 問合せ先責任者
 役職・氏名 取締役 常務執行役員
 情報開示・人事総務担当
 瀧川 浩二
 電 話 045-277-0330

2025年2月期中間連結業績予想と実績値との差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年4月9日に公表いたしました2025年2月期中間連結会計期間（2024年3月1日～2024年8月31日）の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の動向を踏まえ、2024年4月9日に公表いたしました2025年2月期通期（2024年3月1日から2025年2月28日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間連結業績予想と実績値の差異

2025年2月期中間 連結業績予想（2024年3月1日～2024年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,454	7	△15	△2	△0.28
実績 (B)	5,952	166	137	80	7.57
増減額 (B - A)	△502	159	153	83	—
増減率 (%)	△7.78	—	—	—	—
(ご参考) 前中間実績 (2024年2月期第2四半期)	5,747	△33	△31	△6	△0.86

差異の発生理由

2025年2月期中間連結会計期間の連結業績予想につきましては、売上高では放電加工・表面処理セグメントで204百万円、金型セグメントで111百万円、機械装置等セグメントで185百万円の減収となり全体で502百万円の減収となりました。営業利益につきましては、減収の影響により金型セグメントで62百万円、機械装置等セグメントで66百万円の減益となりましたが、放電加工・表面処理セグメントでは減収であったものの設備投資の見直しなどの固定費抑制に努め194百万円の増益となり、更に全社費用を低減したことなどで、全体で159百万円の増益となりました。経常利益以下の段階利益につきましては、営業利益の増益によるものであります。

2. 通期連結業績予想の修正

2025年2月期通期 連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,566	368	329	222	20.85
今回修正予想 (B)	12,956	391	347	227	21.28
増減額 (B - A)	△609	23	17	4	—
増減率 (%)	△4.5	6.4	5.4	2.01	—
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期)	12,160	230	169	231	32.48

修正の理由

2025年2月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は、放電加工・表面処理セグメントの航空機エンジン部品はサプライチェーンの正常化により受注が徐々に回復するものの上期の影響が大きく通期では減収となる見通しですが、ガスタービン部品や遠心圧縮機部品の受注が増加することから、増収となる見通しです。一方、金型セグメントと機械装置等セグメントは、上期業績および現状の受注状況を勘案し売上見通しを引き下げたことで、4月に公表しました業績予想（以下、当初計画）に対して、609百万円の減収となる見通しです。営業利益以下の段階利益は、減収の影響があるものの全社的なコスト削減策の継続や資材高騰に対する適切な価格改定による効果を見込み、当初計画に対して増益となる見通しです。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社において判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上